

# 「願いを形に」

岐阜高山教区 駐在教導 中川 唯真

今年に入って初めての小学校の登校日、娘が家に帰ってきて、その日学校であったことを教えてくれました。全校集会で校長先生からのお話があったそうです。その中で「大谷翔平選手から小学生の皆のためにグローブが届きました！」と紹介され、メッセージとして「野球しようぜ」という大谷選手の願いも伝えられました。小学生たちは遠く海の向こうで活躍する有名人のプレゼントに触れ、大いに盛り上がったそうです。毎日のニュースでも心動かされる大谷選手。全国の全ての小学校に願いを形にしたグローブが3個ずつ届きました。多くの子どもたちが喜び心を動かされたことでしょう。私もその素晴らしい行動に感動させられました。

ただ同時に人間の世界の難しさも感じました。ある小学校では在校生が1人でその学校にもグローブが3個。先生を混ぜてキャッチボールを何とかして、楽しんでおられるニュースもあれば、在校生が何百人の小学校にもグローブは3個。なかなか順番が回って来ない様子がうかがえました。

また、グローブが届いても硬いボールで遊ぶ危険性から、野球を禁止している学校もあり、その活用に苦慮しているところもあるようです。皆で使ってほしいという願いだが、野球クラブの子どもたちしか実質使えないといった難しさもあるようでした。なかなか皆に平等に届き、平等に使うということは難しいなと感じる瞬間でした。

私たちに身近で願いが形になっているものにはご本尊があります。阿弥陀様の願いが形となって、私たちを救いたいと、阿弥陀様の姿をかたどった木像や絵像、あるいは南無阿弥陀仏の名号、お言葉となって様々な形で届いています。

日ごろから私たちがお念仏を申せるのは、誰にでもどこでも実践できる、南無阿弥陀仏の言葉にまでなった、ご本尊があるからです。尊い願いのもと形になっていることにどれほど私たちは喜んでいるのでしょうか。グローブの届いた小学生のように歓声を上げてという

ことではありませんが、いかなる人にも平等に、一人のところにも、何百人のところにも南無阿弥陀仏の言葉が同じように届けられているありがたさを感じていただきたいです。

阿弥陀様からのあなたへのメッセージには「念仏しようぜ」と届けられているかもしれません。左手にはしっかりとお念珠を携えて、今日もお参りしていきましょう。